

公 述 書

山下兼男

私は北総線印西牧の原駅から3～4 km に位置する千葉ニュータウン滝野に住んでいる山下兼男と申します。平成9年入居し12年が経過しました。

北総線は平均的な鉄道運賃の2.0～2.5倍という高額な運賃のため、住民には大変重い負担となっています。

本日私が申し上げることは、成田新高速鉄道開通に伴う騒音、通過車両の風圧による危険性、それから通過車両による待ち時間の問題です。

成田新高速鉄道事業化推進に関する調査報告書には需要予測、利用者数、収支採算性、線路使用料、運行列車本数など具体的に記載されていますが、高スピードで走行する列車が沿線住民にどのような影響を与えるか、北総線利用者へのデメリットの有無など一切記載されていません。

新高速鉄道開通前は1日164本の電車が153本増え、合計317本となり倍増するわけです。

企業の利益に関する調査報告は行っても、沿線住民や

北総線利用者へ及ぼす様々な影響、情報は全然提供されておられません。千葉ニュータウンに移り住んで12年、北総鉄道、そして親会社の京成電鉄の沿線住民に接する態度は、聞く耳持たずの一点張りでした。経営に忠実にとの考えはわかりますが、鉄道利用者そして住民あつての鉄道であります。運賃問題で話し合いに行くと必ず言われるのは、鉄道建設に膨大な費用（約1200億円）がかかった、累積赤字がある、債務超過である等必ず持ち出されます。一方住民側は他鉄道の2.0~2.5倍の異常な高運賃を是正して欲しいとお願いしても、聞く耳持たず1円たりとも値下げには応じられないとの姿勢が今日まで続いています。しかし北総鉄道の営業利益率は33%という素晴らしい収益を上げ、決算は平成12年度以降毎年度黒字を計上しているのです。そして今度、成田新高速鉄道が開業すると予測ではありますが、成田空港の航空機発着回数の増もプラス要因となり、膨大な利益が見込め、京成電鉄、北総鉄道も収益面で大幅に潤うことは明確であります。要約しますと京成電鉄、北総鉄道の住民に対する余りにも頑固な姿勢、即ち 何回言ってもダ

メ、何回相談してもダメの姿勢、それに比べ住民から見た両鉄道の企業実績とは大きな乖離があるのです。一方は借金を抱えているからびた 1 文下げないよ、一方は高い運賃を 10 年～30 年と払ってきたのだから、高運賃を是正してくれても良いのではないかという両者の考え方に大きな乖離があるわけです。このような状態が続くことは京成電鉄、北総鉄道としても社会通念上良い印象は持たれないし、企業は社会や住民と共に育ち発展していくという常識に合致しません。そして千葉ニュータウンの発展にも決して良い結果をもたらしません。ましてや成田国際空港の発展にも決して良くありません。

以上のような鉄道と住民の心が乖離した状態のもとでいよいよ成田新高速鉄道が北総線上を走ることが決まった時住民はどのように感じるでしょうか。

長い間の未解決の高運賃問題がここで解決すると思うのは当然ではないでしょうか。以上申し上げました積年の住民の思いを汲みとって、値下げ可能な企業内容であることから適正な運賃に是正することを、審議会で認めて頂きたいと思っております。

さて 先日の新聞紙上で成田国際空港会社が発着回数増に伴う騒音予測を地元首長に示したとの報道がありました。

また新幹線鉄道の騒音基準も設けられています。

先日白井方面の住民が夜間大きな音と地響きで目が覚めたとのこと、原因はスカイライナーの試運転の音だったと聞きました。またホームでスカイライナーや特急が目の前を高スピードで通り抜けるのを見つめるしかない住民のきもちも分かって欲しいものです。

先程も述べたように環境など住民生活に係わる成田高速鉄道の諸情報を、誠意をもって提供する義務があります。

いずれにしても10年～30年という長い期間高運賃を支払い北総線を支えてきた住民や利用者に与える、成田新高速鉄道開通による騒音、ホーム上の危険性、通過車両の待ち時間のデメリットを考えると、代償としては運賃の適正化しかないのではないのでしょうか。少々くどいようですが北総鉄道は平成12年来黒字決算です。法人税も毎年10億円前後払っております。それならば運賃を

下げて下さいと言うと、それは1円たりとも下げられないとの返事です。そして今度は北総線を成田新高速鉄道が走ります。スカイライナーはノンストップ、特急は殆んどの駅を通過します。130~160kmのスピードなのです。騒音が高いが我慢して下さい、ホーム上は危険なので注意して下さい、待ち時間があるので到着時間は延びてしまいますよ、ということで、そのようなことに対する住民感情として憤りを感じるのではないのでしょうか。そうすると5%程度の値下げならば成田新高速鉄道は運行されない方が良くということです。

運賃値下げの機会は当面ないと思いますので、今回は是非「京成本線並み」の運賃に是正して下さい。

結論として今回の事業、「京成電鉄株式会社の鉄道の旅客運賃の上限設定の認可」には反対します。

以上で私の公述を終わります。